

## 鼻曲山山行報告

【山行日】2025年 8月 17(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー3台 : 3,200円

【メンバー】 CL:鈴木、SL:大西 飯口、飯野、植竹、大塚、岸、嶋田、島田、田崎、根本、野口、廣瀬、福島、渡邊

【コースタイム】岩舟支所P5:00＝二度上峠  
P7:00/7:20～氷妻山 8:10/8:20～鼻曲山 9:20/9:50  
～氷妻山 10:40/10:45～二度上峠 P11:30/11:40＝  
はまゆう山荘 12:00/13:20～卵太郎 13:50/14:10＝  
角上魚類 14:30/14:45＝岩舟支所P15:50



山行アンケートで「レンゲショウマの花が見られる山に登りたい」と言うリクエストがあり、はて我輩も見たことが無いので困ってしまっ

た。三つ峠山や奥多摩の御岳山で見られると聞いていたが、どのあたりに咲くのか分からないので計画できない。ネットで調べてみると、鼻曲山の二度上峠からの登山道に咲くとの情報が得られた。鼻曲山なら登った事が有るので、花の時季に合わせて計画し7月例会で募集した。皆さんもレンゲショウマの花には興味があるようで、18名の方から参加の申し込みが有った。当日までに3名がキャンセルになり、15名が3台の車に分乗して岩舟支所を出発した。北関東道から関越道に入りすぐ先の高崎ICで降り、上大類町交差点を右折し

て北部環状線から国道406号線を進む。榎田のY字路を左折して県道54号線を進み、下山後ランチをいただく「はまゆう山荘」でトイレを済ませて二度上峠手前の駐車場に車を止める。出発の準備を整え、ストレッチを行なったら出発する。

舗装道路を数分登ると登山口がある二度上峠に着き、ここからは浅間山の展望が素晴らしい。笹の中に付けられた登山道を進み、緩やかなアップダウンの道は自然林の中に付けられ爽快に歩いて行く。涼しい風が心地よく「思ったより涼しいね」との声が聞こえてくる。小さな岩の段差があり苦戦して降りられない人がいて渋滞し、この先で休憩後ゆっくり班と2つに分けて行動する。最初のピーク氷妻山に着いて休憩し衣服調整を行い、O嬢手作りのチーズケーキを食べてエネルギーを補給する。





ここから一旦笹の中を緩やかに下り、下り切った鞍部から急登が待っている。

急坂を登りながら左右を見るが、レンゲショウマらしき花は見られない。いったん傾斜が緩くなり、その先からさらに急坂を登るようになり、下って来た人に「レンゲショウマの花はありましたか？」と聞



くと、「いっぱいありましたよ」との返事に元気が湧いてきた。急坂を登って行くと薄紫のレンゲショウマの花が出迎えてくれ、初めて見る“森の妖精”に皆さん感動していた。それぞれカメラやスマホにレンゲショウマの花を撮り、花を見ながら登って行くと山頂の端に登り上げ、平坦な道を進むと三角点が置かれた山頂に着く。ここは小天狗と呼ばれる山頂で、ここから数分進むと大天狗と呼ばれる鼻曲山山頂に着く。木々に囲まれて展望は得られないが、すぐ先の岩場を登っ

たピークから妙義山や西上州の山々が見渡せる。後から植竹さんと徳ちゃんが来ると言うので、福島さんが小天狗まで迎えに行く。我々は山頂でナンを食べて待っていたが、なかなか来ないので戻ることにした。少し下ると3人と会い、そのまま小天狗の山頂まで戻り記念写真を撮って休憩する。

3人はナンを食べ他の人はゼリーを食べて、3人の疲れが取れたら下山開始する。下りは往路を戻

り、レンゲショウマの花をもう一度ゆっくり楽し

みながら下って行く。鞍部まで下り氷妻山まで

はアップダウンを繰り返しながら進み、氷妻山

で最後の休憩を取る。ここから二度上峠までも

細かなアップダウンが連続し、疲れた足には

登りが辛い。ようやく二度上峠まで戻り、峠の

案内板の前で記念写真を撮ったら駐車場まで

戻る。靴を履き替えたらずに車に乗り、はまゆう山

荘の温泉で汗を流し、朝頼んでおいたランチを

いただく。皆さん汗をかいたので、温泉に入っ

て汗を流せとても良かったと喜んでいて、頼んでおいたランチも時間通りに出て来て、3種類のラン

チをそれぞれ美味しくいただいた。ランチが済んだら帰路に着き、途中2箇所に寄ってお買い物。

まずはいつもの「卵太郎」に寄り、シュークリームや卵プリンをゲットする。次は高崎市内の生鮮食

品スーパー「角上魚類」でお買い物。特にお魚が品数も多く充実しているので、皆さんお刺身や鮮

魚を購入していた。お買い物が済んだら帰路に着き、高崎 IC から北関東道に入り往路を戻る。

お盆休みの最終日なので渋滞を心配したが、渋滞が佐野 IC からなので渋滞にも合わず予定より早

く岩舟支所に帰着出来た。

